

2018年7月9日
宮越ホールディングス株式会社

WIC予定地、若い起業家集まり、明日の夢を追う

中国・深圳市のほぼ中央に位置する一角に当社のWIC（ワールド・イノベーション・センター）建設予定地があります。先週、社長一行が同市を訪れ政府関係者と建設プロジェクトについて交渉してきました。開発許可を待つ現地の最近事情を報告します。

深圳市は「マンハッタン（金融）＋シリコンバレー（ハイテク）」都市を目指すと言われ、総力を挙げて新都市造りに取り組んでいます。開発予定地周辺は高層ビルが増え、当社の用地（12万7000㎡）部分には低層のビルが散在するだけで、開発の波から取り残されているかのように見えます**(写真1参照)**。



(写真1) 高層ビル群の手前の空地のように見える部分が建設予定地。
低層ビルにはベンチャー企業が入居。開発作業を進めている

とはいっても、ここは中国きってのイノベーション都市・深圳です。国際特許出願件数の都市別ランキングで深圳は断トツのトップ。シェアは46.9%（国家知的財産権局データ）。敷地内、敷地内の3階建てビルに足を踏み入れると、中は別世界のようにピッカピカに改装され、廊下の両サイドにはベンチャー企業32社が入居するオフィスが並んでいました**(写真2参照)**。その中の一室にお邪魔すると、みんなパソコン相手に技術とイノベーション開発に取り組んでいました。そこにいるのは若者ばかりです。起業に結びつく開発に賭けよ

うとする熱気と活気に圧倒されそうでした(写真3参照)。



(写真2) 両サイドにはベンチャー企業のオフィスが入居



(写真3) 入居しているベンチャー企業。政府の支援策もあり、若者の起業意欲が高まっている。

ここには深圳海外留学帰国者協会のオフィスも居をかまえていました。帰国者が独立して事業を起こそうとするのを支援する組織で、当社と政府の協力のもと運営されています。

このほか地元政府の要請を受け、新規事業の芽を孵化させるのを手助けするインキュベーション施設も当社支援の下で運営されています。深圳は中国で最も起業意欲の高いところ
です。

当社の再開発予定地前の公道に出ると、ここでも行き交う人は若者ばかりなのに気づ
きます(写真4参照)。ここは深圳だったと実感します。平均年齢32.5歳。中国で最も若い
都市といわれる。65歳以上の人口比率は深圳1.8%に対し、北京8.7%、上海10.
1%、広州6.6%。ヒト、モノ、技術が集積する爆速都市の中心部という地の利を求め、
WICの完成を待ちきれないかのように若い起業家たちが集まり、明日の夢を追いかけて
いるようでした。



(写真4) 再開発予定地前の公道。行き交う人は若者ばかり。若者の街深圳を実感します。

以上